



# 向陽台保育園だより

2026年3月9日3月号

向陽台保育園

「自分のことを楽しんでできるこども」「友だちと協力して生活できるこども」

保育目標

「美しいものに感動し表現できるこども」「いのちを大切にできるこども」

## うみ・もり・そらのおうちの年長児 22名 卒園おめでとう！



異年齢クラスで生活した3年間。年長児の憧れを身近に感じ、いよいよ本当の年長児としてこの1年間おうちの仲間と生活を共にしてきました。

日々の生活では自分より小さい存在とのかかわり方をあれこれ考えながら上手に対応する社会性、適応力が伸びました。そんなおうちの年中・年少児は「先生よりも年長さん！」の方が絶対的憧れの存在。

5歳児だから〇〇できるように！ではなく、個々のペースを見守り、『やる気の芽』には言葉の栄養を、『踏み出す勇気』には後ろから支え……。子どもは自分で感じて動いた時に本当の力を発揮します。

私たち職員は、異年齢保育に「近い存在に憧れる」「慕われる」「他者を思いやる心」そして、大人は「一人ひとりの違いを認め、こころが動く時を見守る(信じる)」ことを大事にしながら保育を進めてきました。まさに、その力を十分に蓄えた22名の子どもたち。

いよいよ15日に卒園式を控え、小学生になる準備は万全です。キラキラの小学校生活も、うみ・もり・そらのおうちのみんならしく楽しんでほしいと願っています。おおきく羽ばたけ！22名の年長さん！！

### 今月の予定

- 3/4 (水) 誕生会
- 10 (火) 向陽台小交流会 (年長)
- 14 (土) 第37回卒園式
- 18 (水) 年少遠足
- 20 (金) 春分の日 (休園)**
- 23 (月) 新生活移行開始
- 26 (木) 年長の日

3/13(金)は卒園式準備の為幼児クラスは布団交換ができません。  
14(土)15:00~18:00 又は  
16(月)のご協力をお願いします。

23 (月)からは、進級クラスにて生活を行います。確認・準備等もあると思いますので、時間に余裕をもって登園してください。

## 震災からまもなく15年

2011年、3月11日(金) 14:46 …

お昼寝の時間に足元から大きな揺れが感じられ、ほどなく何かにつかまらないうちで立っているのが怖いと感じた、これまでに経験したことのない大きな地震が発生。

毎月訓練をしていたものの、職員の身体に感じる経験のないとてつもない恐怖・・・それでもすぐさま職員はお昼寝中の子どもたちの安全を守るため、連携し合い子どもたちに布団を頭にかぶるように促しました。

都心の交通機関は完全にマヒし、駅にも、街にも多くの人が溢れ返り、帰宅困難者が続出。その日、すべての子ども達の引き渡しが無事完了したのは22:30でした。



東日本大震災発生当時は中学・高校生だった保護者の方も多いでしょう。

その時、あなたはどこにいましたか？どのようにしてその夜を迎えましたか？

年に1回、園だよりを通して震災時を振り返り、それぞれのあの日を思い出して防災意識に繋がりたいと思います。

## お知らせ

「児童票」「緊急連絡票」「健康の記録」の修正・加筆の必要があるご家庭は事務所にお送りください。

特に**勤務先の変更**は、お子さんをお預かりするうえでお知らせいただく必要があります。よろしくお願いいたします。

### 心が動く♡感動する

先日、こまぎわ幼稚園との年長児交流が行われ、バイオリン演奏を聴く時間がありました。園長先生から聴くとき、上手だなあ思ったときは、拍手で表現、おしゃべりはしないというお約束がありました。

演奏はエーデルワイス♪からタンゴ、ミッキーマウスメドレーなど子ども達が知っている楽しい曲も聴かせていただきました。

約30分近い演奏に幼稚園では年少さんも参加・・・その間微動だせず、じっと座っているお子さんに目が留まります。

お約束をしっかりと守れていることに驚く反面、素敵な音楽を聴くと心が動く、リズムや鼓動を感じて体が自然に動くことはないのかな？という思いに同時にかられるのでした。向陽台の年長児は・・・演奏に合わせて自然に体がリズムを感じ、大きな拍手を送る伸び伸びとした姿。良い、悪いの話ではなく、感じるという感性は約束を守ること以上に、止められない感性。約束を守りながらも豊かな表現ができる素敵な子ども達に育っていることが嬉しい一面でした。